

論文審査の結果の要旨

2024 年 2 月 7 日

学位論文題目 がん化学療法による分子標的薬が有効性および安全性におよぼす影響についての研究

学位申請者 橋野 泰良

審査委員 主 査 佐藤 秀紀



副 査 江川 祥子



副 査 山下 美妃



申請者は、経口分子標的薬である血管内皮増殖因子受容体チロシンキナーゼ阻害薬 (VEGFR-TKI) の使用による高血圧の発症が、左心室機能に影響を与える可能性について調査した。その結果、VEGFR-TKI によって上昇した血圧は、左心室収縮機能の悪化を引き起こす可能性を示した。さらに、オシメルチニブを投与された非小細胞肺癌患者における、オシメルチニブの血中濃度と有効性および副作用との関連性について調査し、血中濃度に影響を与えるリスク因子の探索を行った。その結果、アルブミンの分布量が、間接的にオシメルチニブの血中濃度に関連し、患者の予後に影響を与える可能性が示された。しかし、オシメルチニブの副作用発現には、血中濃度は影響を与えなかった。さらに、カルボプラチン、ペメトレキセド、ペムブロリズマブの 3 剤併用療法を受けた非小細胞肺癌患者の GNRI・PNI と治療成功期間および副作用発現との関連について調査した。その結果、治療開始時の PNI は 3 剤併用療法を受けた患者の治療成功期間に影響を与える独立した予後因子であることが明らかとなった。

本研究で得られた知見は、がん患者に対してより適切ながん化学療法の実施の提供に繋がる重要な情報をもたらすものである。以上のことから、本論文は本学の博士論文として評価に値するものと認定した。

2024 年 2 月 7 日

北海道科学大学大学院

研 究 科 長 殿

審査委員

主 査 佐 藤 秀 紀



副 査 江 川 祥 子



副 査 山 下 美 妃



学位論文審査及び最終試験報告書

学位申請者 橋 野 泰 良

上記の者提出の学位論文の審査及び最終試験を実施した結果、

合格と認定しましたので、論文審査の結果の要旨、最終試験の結果の要旨を

添えて報告いたします。

最 終 試 験 の 結 果 の 要 旨

2024 年 2 月 7 日

学位申請者 橋 野 泰 良

審査委員 主 査 佐 藤 秀 紀



副 査 江 川 祥 子



副 査 山 下 美 妃



学位論文を中心とした関連科目についての最終試験を行った結果、本学の学位を授与するに値するものと判断し、合格と認定した。

2024 年 2 月 7 日

審査委員主査

佐藤 秀紀 殿

審査委員 山下 美妃



学位論文審査及び最終試験報告書

学位申請者 橋野 泰良

上記の者提出の学位論文の審査及び最終試験を実施した結果、合格と認定しましたので報告いたします。

学位論文 題 目	がん化学療法による分子標的薬が有効性および安全性におよぼす影響 についての研究		
学位論文審査報告		判 定	合 格
結果の要旨			
学位論文審査の結果、本論文は本学の博士論文として相応しいものと認定した。			
最 終 試 験 報 告		判 定	合 格
結果の要旨			
学位論文を中心とした関連科目についての最終試験を行った結果、合格と認定した。			

2024 年 2 月 7 日

審査委員主査

佐藤 秀紀 殿

審査委員 江川 祥子



学位論文審査及び最終試験報告書

学位申請者 橋野 泰良

上記の者提出の学位論文の審査及び最終試験を実施した結果、合格と認定しましたので報告いたします。

学位論文 題 目	がん化学療法による分子標的薬が有効性および安全性におよぼす影響 についての研究		
学位論文審査報告		判 定	合 格
結果の要旨			
学位論文審査の結果、本論文は本学の博士論文として相応しいものと認定した。			
最 終 試 験 報 告		判 定	合 格
結果の要旨			
学位論文を中心とした関連科目についての最終試験を行った結果、合格と認定した。			